

青谷かみじち遺跡

NEWS

発行：とっとり弥生の王国推進課
青谷上寺地遺跡整備室

〒689-0952
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2F
電話 0857-85-5011

Vol. **15**
2020 Summer



弥生人も大好きだった？

青谷上寺地遺跡から出土したウナギの背骨です。しょう油も砂糖もない弥生時代は、どんな味付けで食べていたのでしょうか。きっと弥生人もウナギを食べて、暑い夏をのりきっていたのでしょう。

青谷小と青谷高の児童生徒が 古代米の田植えを体験！

青谷高校の生徒と青谷小学校の児童が、6月9日と10日の2日間、青谷上寺地遺跡内の体験水田で古代米の田植えを体験しました。9日は青谷高校3年生15名が、10日は青谷高校2年生7名と青谷小学校5年生38名が苗を手植えました。

苗の手植えは簡単に見えますが、苗が水に浮いてこないよう根を泥に貼り付けるように植えるなど、ちよつとしたコツが必要です。高校生はすぐにコツを習得し、飛び跳ねるカエルに驚きながらもテンポよく植えていました。最初は苦戦していた小学生も、高校生のサポートで次第に上達し、「もつとやりたい！」というアピールも出ていました。最後に、昨年収穫した古代米と小豆のお土産をもらい、楽しそうに帰路につきました。

今回田植えをした古代米の収穫時期は10月頃で、稲刈りも青谷小学校と青谷高校の児童生徒が行う予定です！



青谷高校3年生の皆さん。暑い中頑張りました！



青谷高校2年生と青谷小学校5年生の皆さん。梅雨入りギリギリのタイミングでした。

木器の調査研究成果より 弥生時代の匙、何に使った？

青谷上寺地遺跡では、1万点を超える木器（木で作った道具）が出土しています。これらの木器の内、暮らしの道具の整理を平成28年度から令和元年度まで行い、現在、調査研究成果をまとめていますので、その一部を紹介します。

多量に出土した木器のなかで目を引くのが、匙の多さです。青谷上寺地遺跡では約100点が出土しており、これはひとつの遺跡から出土した数としては全国最多です。今でも匙はいろいろな用途に使われています。主な用途は食べ物をつくうことですが、それでは弥生時代の人たちが匙を使って食事をしていたのでしょうか。

古代中国の歴史書「魏志倭人伝」には、「倭人（弥生人）は手づかみで食べる」と記されています。全国的に見ても弥生時代の遺跡から出土する匙の数は少ないので、匙を使って食事をするのが一般的であったとは思えません。

青谷上寺地遺跡では、精巧に作られた木製の食器が出土しています。匙も丁寧な作りなので、ごく一部の身分の高い人が使ったか、または匙と食器のセットを青谷産の高級ブランドとして、他地域との交易品にしたのかもしれない。



様々な大きさの匙を用途に合わせて使い分けていたのでしょうか。

